

・佃 眞吾の木工

2019年 9月21日.土 — 9月29日.日

作家在廊日 21日 OPEN 11:00 — 18:00 定休日 25日

佃さんは52才だそうで、「50にして天命を知るという年になった。」と言われる。「私がやるべき事、人生後半何を作って行くか、考えるようになった。」と。彼は木工をやらうとした20代始め、店舗の什器専門の現場で、5年間下積みをした。

それから、もっとちゃんと木工をしたいと弟子入りし直した。その時「何年位やらないといけないか」と聞いたら10年位と言われたので、10年ひととおりやってから独立した。昼勤めながら、夜も1時2時まで別の木工所の仕事もしていたという。そういう時間が、今の佃さんを作ったと思う。特に指物師の技術を習得したのは、大きなことだと思う。

今回のDMの作品は、写真撮りギリギリになって届いた。単純ではあるが繊細で、器ではあるが彫刻的である。シンメトリーではないので作るのは面倒だけれど、やってみたかった仕事だと言う。

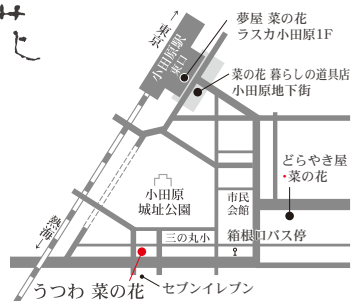
それは私に今までにない印象を与えてくれた。形といい色といい、栗の木の良さが存分に発揮されている。良く生み出したと思う。彼の人生後半の新しい世界が始まろうとしています。

2019.9.6 ● 高橋台一

うつわ 菜の花

小田原市南町 1-3-12
電話 0465-24-7020

小田原駅東口より箱根方面へ
向かうバス利用
[箱根口]バス停下車徒歩2分
セブンイレブン向かい側



<次回企画展> 真木千秋展 箱根菜の花展示室
2019年10月5日(土) — 10月14日(月)



・ 佃 眞吾の木工



うっわ菜の花